

今月の特集関連本 ①

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.367)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



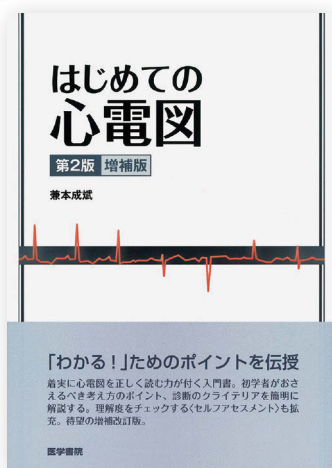
『medicina』2019年3月号 TPOで読み解く心電図

西原崇創＝企画

本体 2,600 円＋税／B5 判・184 頁／医学書院／2019

きょうだい誌『medicina』の最新号は「心電図」。3月号はそろって循環器特集となりました。併せてご覧ください。

「読めない！」と、誰もが初めに感じたであろう心電図。数多くの所見が得られるものだと考え、心電図1枚からすべて読み取ろうとすると落とし穴にはまりかねない。エキスパートはTPO (Time, Place, Occasion) を意識し、今与えられた場面における見るべき重要所見を絞って鑑別していく。その視点と思考を本誌から感じていただきたい。



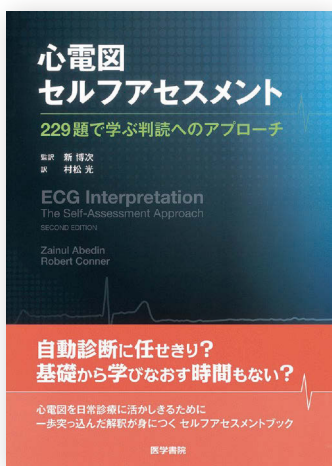
はじめての心電図

第2版増補版

兼本成斌＝著

本体 4,500 円＋税／B5 判・360 頁／医学書院／2014

初学者がつまずくポイントを熟知した著者による、長年の心電図教育のノウハウを盛り込んだ心電図入門書の決定版。簡潔かつ明快な解説は、初めの一步から医師として到達すべき水準まで無理なく導く。新しい機器が開発され、医学が著しく進歩しても、心電図を正確に解読する意義は、いささかも変わるものではない。診療に役立つ心電所見を読む力が、着実に身につく1冊。



心電図セルフアセスメント

229 題で学ぶ判読へのアプローチ

Zainul Abedin, Robert Conner＝原著

新博次＝監訳

村松光＝訳

本体 4,000 円＋税／B5 判・240 頁／医学書院／2014

心電図は自動解析機能に任せきり？ 心電図の本や雑誌はちまたにあふれるが、“理解の仕方”にまで踏み込んだ本は少ない。本書は、229 題のセルフアセスメントにより、心電図を精確に読み、不整脈の発症機序を考えるスキルを身につけられる貴重な1冊。日常診療で避けては通れない心電図が得意になれば、刻々と変化する患者の病態を見逃さず、得られる情報も計りしれない。自動解析を待っていないすべての現場の方へ。